

小樽芸術村「浮世絵美術館」に葛飾北斎「雪中美人図」收藏のお知らせ

ニトリホールディングスより、当社代表取締役会長の似鳥昭雄が理事を務める、公益財団法人似鳥文化財団（小樽事務所：北海道小樽市 代表理事：似鳥昭雄）が運営する小樽芸術村「浮世絵美術館」に、葛飾北斎の「雪中美人図」を收藏できることとなりましたので、お知らせいたします。

このたび、小樽芸術村開設10周年を迎える節目に、葛飾北斎の肉筆画「雪中美人図」を浮世絵美術館に收藏できることとなりました。

「雪中美人図」は、縦約1メートルに及ぶ画面に、雪の降る吉原に佇む花魁（おいらん）とみられる女性が描かれています。鮮やかな青が特徴で、「富嶽三十六景」制作以前、北斎の円熟期に描かれた秀作とされています。



葛飾北斎「雪中美人図」（1813～19年、部分）

現在多くの方にご覧いただける機会をご提供するため、一般公開を計画しております。現時点での公開時期は未定となっておりますが、決まり次第改めてご案内いたします。

また「浮世絵美術館」では「雪中美人図」以外にも北斎の肉筆画3点など多数のコレクションを所蔵しております。今後も浮世絵の収集を継続し、国内外の方々に魅力を伝えることで、北海道観光の振興にも貢献してまいります。

小樽芸術村浮世絵美術館コレクションの精華を、ぜひご覧ください。

小樽芸術村 浮世絵美術館について

「浮世絵美術館」は2025年7月小樽芸術村5館目の美術館としてオープンした、北海道内初となる浮世絵専門の美術館です。喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川国芳、歌川広重ら江戸の人気絵師による浮世絵から、大正・昭和期に活躍した川瀬巴水らによる新版画まで、約1,600点の作品を收藏しております。



建物は、観光客でにぎわう小樽運河に面する「浅草橋小樽運河倉庫ビル」を活用いたしました。収蔵作品による企画展を開催するほか、高精細レプリカや道具見本等を用いて常設展示を構成し、いつでも浮世絵の魅力に触れられる場としております。

■開館時間

[5～10月] 9:30～17:00

[11～4月] 10:00～17:00（入場は閉館30分前まで）

■休館日

[5～10月] 毎月第4水曜日

[11～4月] 毎週水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始

■入場料

（浮世絵美術館）

一般1,400円、大学生1,000円、高校生800円、中学生600円、小学生400円

（5館共通券）

一般3,500円、大学生2,700円、高校生2,100円、中学生1,400円、小学生900円

■小樽芸術村ホームページ

<https://www.nitorihd.co.jp/otaru-art-base/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001267.000073913.html>

株式会社ニトリホールディングスのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/73913

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ニトリホールディングス 広報部 杉山

電話：03-6741-1213 Mail：koho@nitori.jp